

「破壊の先を考える 第2回」

【開催趣旨】: 材料などの破壊やひび割れの存在を前提とし、破壊後の挙動がどうなるのか、如何に検知するのか、またどのように対応するのか、「破壊の先」を考えている研究者が分野を超えて存在する。そのような異分野研究者間で議論をし、連携を模索する場としてのシンポジウムを開催する。JST 創発的研究支援事業の研究者間の研究交流ならびに、広く関連分野の若手研究者・学生への研究内容発信、JST 創発的支援事業に関する情報発信を目的とする。

【日時】: 2024年8月6日(水)13:30-17:30

【会場】: 東北大学片平キャンパス 東北大学知の館(TOKYO ELECTRON House of Creativity)
(〒980-0812 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1)
ならびに オンライン(ZOOM) のハイブリッド開催

【参加登録方法】

以下の URL より google form にアクセスし、参加登録ください。

<https://forms.gle/EpJEGgSG5Vbr2FkW7>

※材料(モノ)だけでなく、生体や社会など、様々な対象について、破壊の先の議論を行えればと考えています。様々な分野の創発研究者の参加を歓迎致します。

【参加登録締切】: 2024/7/29(月) 23:00

【スケジュール(案)】(調整中・今後変更の可能性あり):

① 午前(参加自由、希望者のみ) 青葉山キャンパス ナノテラス見学

10:00 青葉山駅改札集合 → 徒歩移動

10:30-11:30 ナノテラス見学 → 片平キャンパスへ移動

② 午後 融合の場 前半パート: 公開シンポジウム (ハイブリッド開催)

13:30-13:40 趣旨説明/JST 創発的研究支援事業の案内

13:40-14:00 研究発表①(吉田パネル 東北大学 椋平祐輔)

「圧力・温度自動応答スマート流体による資源開発革命」

14:00-14:20 研究発表②(堀パネル 熊本大学 オノ木敦士)

「CO₂ 鉱物化法を用いた誘発地震抑制技術の基礎的検討」

14:20-14:40 研究発表③(北川パネル はこだて未来大学 義永那津人)

「ソフトマテリアルの構造形成プロセスを理解するための数理モデルとデータ科学の協奏」

14:40-14:50 休憩

14:50-15:10 研究発表④(堀パネル 東北大学 内藤英樹)

「AIを活用した社会基盤構造物の高精度健全性診断」

15:10-15:30 研究発表⑤(田中パネル 東京大学 中川桂一)

「破壊現象を計測するための超高速イメージング法」

15:30-15:50 研究発表⑥(天谷パネル 岡山大学 Hara Emilio Satoshi) (オンライン)

「骨組織の破壊と修復について考える」

※発表タイトルは今後発表内容に応じて変更の可能性あり。

③ 午後 融合の場 後半パート:ポスターセッション (対面のみ開催)

16:00-17:30 ポスターセッション

※シンポジウム発表者、創発採択者など有志によるポスター発表および自由な議論を行う。

※後半パートは創発研究参加する方には、研究内容に関する守秘義務同意書を提出頂きます。

17:30 閉会 →懇親会

【オーガナイザー】

堀パネル 東京大学 高橋佑弥 井村パネル 東北大学 小原良和

吉田パネル 東北大学 宇野正起 吉田パネル 東北大学 椋平祐輔

【連絡先】

東京大学 高橋佑弥 takahashi@concrete.t.u-tokyo.ac.jp